

インドネシア・ベトナム留学生との意見交換

10月31日、国際コース1年生はインドネシアとベトナムからの留学生5名と意見交換を行いました。

事前学習

留学生との意見交換を行うにあたり、自分たちがこれまでに得てきた情報から、インドネシアとベトナムについて問題だと思ふこととその現状、そしてあるべき理想の姿をまとめました。それをもとに留学生から話を聞き、自分たちの考えとの相違点を探しました。

留学生の講演

名古屋市内の大学に留学中の5名に来校いただきました。インドネシアのディエス氏、ギラン氏、ドゥイキ氏は、まず生徒に「インドネシアのイメージは？」と質問し、生徒たちはこれまで学んできたインドネシアの知識を張り切って答えました。「島が多い」「イスラム教」「JKT」など生徒が答えたことから、インドネシアの文化について広げて教えてください、生徒たちは今まで調べてきても分からなかったことを知ることができました。ベトナムのグエン氏、チャンハトウ氏は写真を見せながら、ベトナムの文化について教えてくださいました。

留学生との意見交換

講演後、研究テーマごとに分かれて留学生と意見交換を行いました。まずは事前学習でまとめた各国の問題点と現状、自分たちが思うあるべき姿について生徒が発表し、その後留学生からそれに対する現状や現地の人としての意見をいただきました。生徒たちは自分たちが思っていた以上に問題の根が深く、複雑に絡み合っている現状を知り、簡単には解決できないという現実を知ることができました。この現実を知ったうえで、さらに研究を深めていき、より良い社会への解決方法を模索しなければならないと、決意を新たにしました。



留学生5名が来校しました



留学生の講演



意見交換で現実を知りました